せせらぎ三島ロータリークラブ
Seseragi-Mishima Rotary Club

SESERAGI－MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週　報

2026～2027年度　RI会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ
RIテーマ　CREATE LASTING IMPACT

クラブテーマ「関わるすべての皆様と　夢、喜び、心からの感謝　の共鳴」
会長 小島　真　　幹事　藤川智徳

事務所　三島市泉町9－8　1F南
TEL.055－976－6351 FAX.055－976－6352
http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp
せせらぎ三島ロータリークラブ　検索
例会場　呉竹
TEL.055－975-3210
毎週金曜日　第1・第3 夜間例会

第1654回 例会

2026.10. 23(金)晴

司会：　高橋大輔君
ロータリーソング「それでこそロータリー」 指揮：宮澤友一君

会長挨拶

副会長　原　兄多君



本日は、小島会長がやむを得ない事情により欠席のため、今年度副会長を務めさせていただいている私が会長挨拶を担当します。会長不在なのに会長挨拶は必要なのか？と思い調べてみたら、クラブ細則第13条に例会の順序という項目があり、その中に会長挨拶も明記されているので、割愛するわけにはいかないようです。

では、会長が不在の時に誰が会長挨拶を代理するかと言うと定款や細則等にも記載がないのですが、クラブ細則第4条に副会長の任務として、会長不在の場合、クラブの会合と理事会の会合において議長を務める、とありますので、議長以外にも会長不在の場合に代理を務める、という理解で良いのではないかと思います。副会長という職は、会長不在の場合を想定して設けられている、とも言えます。

ロータリーは、組織ですので会長が不在だからと言って、機能不全に陥ってしまっては何もできなくなってしまいます。

今回は、会長挨拶や副会長を例に、お話ししましたが、困ったことや分からないことがあった場合、そのルールとなるのは、定款・細則・内部規則です。

クラブ研修会は、ロータリーのルールを学ぶ良い機会だと思いますので、皆さん、積極的に参加しましょう。

出｜席｜報｜告｜

	出席総数	出　席　率	メークアップ	修正出席率
前々回	33/43	76.74%	37/43	86.05%
今　回	30/43	69.77%	会員総数	44名

欠　席　者　　あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、遠藤(修)君、大庭君、大村君、勝又君、加藤(貴)君、小島君、仲原君、服部君、道場君、山田君、吉村君、米山君

おめでとう

会員誕生日	10月28日	杉橋聡君
	10月31日	野村諒子君
入会記念日	10月26日	田村康晃君







スマイルボックス

芹澤宏昌君：この度なんと、なんと、ナント弊社の隠しきれない技術力がどうやら世間にバレてしまったようで日本一の地方創生メディア「Made In Lokal」が選ぶ「静岡を代表する企業100選」に選出され、本日正式に公開されました！グループLINEに掲載記事のURLを貼ってありますのでぜひご覧ください。尚、11月6日は授賞式のため例会を欠席いたします。本日は、この喜びと感謝を込めてスマイルします。

成川尊裕君：先日、将棋の竜王戦の勝負めしデザート部門でRAI4のアップルパイが選ばれました。うれしかったです。RAI4でアップルパイがメニューになかったので今日から始めます。

原兄多君：本日、会長挨拶代理と地区卓話を担当します。私ばかり話してしまいますが、ご容赦ください。

野村諒子君：イベントの秋、食欲の秋を楽しみましょう。菊まつりが10月30日から始まります。1か月間開催していますので参加してください。

鈴木俊也君：朝晩すずしくなりましたね。スマイルします。

Cテーブル：10月19日にCテーブルのテーブル会を行いました。笑顔あふれる会となりました。小林さん、仲原さんよりスマイルいただきました。

卓話

原　兄多君



ポリオとは、医学用語では急性灰白髄炎のことで、かつては小児麻痺と呼ばれていました。病原体のポリオウィルスが、脊髄の灰白質に入り込み、神経細胞を傷害して筋肉を麻痺させてしまう病気です。症状としては、筋肉が萎縮して手足が細くなり、呼吸に関与した神経細胞がおかされ、呼吸不能となり、最悪は死に至ります。実は、ポリオの死亡率は子供は2%～5%ですが、成人は、重篤化する確率が高くなり、死亡率も15%～30%と上がります。ワクチンが普及するまでは、年間35万人が罹患しておりました。

主に嘖口感染により広まる病気ですので、水利用環境の劣悪な地域で感染が増えます。人以外には感染しないウィルスで、水の中で1～2週間生きることができます。

次にポリオの歴史です。紀元前1350年、既にエジプトの壁画に見られております。1905年　スウェーデンで1，000人以上の麻痺患者が発生しました。1916年にはアメリカで流行し、27，363人のマヒ患者が発生し、内7，179人がなくなりました。日本では明治後期から、10数年の間隔で流行しております。最も流行が大きかった1948年～61年頃は、年間のポリオ患者数は1，000人～5，000人にのぼり、死亡者は100人～1，000人となりました。

国際ロータリーのポリオ根絶に向けた軌跡に関して、お話し致します。なお、2019年まで、ロータリーでは「ポリオ撲滅」という文言を用いていましたが、2019年以降は「ポリオ根絶」という文言に変えております。以降の説明では、2019年以前の宣言等は「撲滅」、以降は「根絶」という文言で説明させていただきます。

1979年は国際児童年で、翌年1980年の国際ロータリー創立75周年記念活動を構想していた時期ともあいまって、幼児疾患であるポリオ対策の3年計画を策定しました。その1979年に、ロータリーがフィリピンで600万人の子供へのポリオ予防接種プロジェクトを開始しました。1980年は、日本で最後のポリオ野生株感染が確認された年で、同時に天然痘が地球上から撲滅された年でもあります。1982年には東京麹町ロータリークラブが、南インドでの取り組みを開始しました。1985年国際ロータリーがポリオプラスを立上げ、1億2000万ドルの募金目標を設定しました。民間による史上初、かつ最大規模の国際的な公共保健イニシアチブとして、「ポリオプラスプログラム」を立ち上げました。

これに対して1988年、WHO（世界保健機構）とともに「世界ポリオ撲滅推進活動」GPEIを開始しました。ロータリー会員が、ポリオプラスへの2億4，700万ドルの募金に成功します。当初、目標の2倍以上を達成しました。

同じく1988年WHO世界保健機関、ユニセフ、CDC米国疾病対策センターそして、国際ロータリーが参加して、[世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）]を発足させました。2000年には、オーストラリアから中国まで広がる、西太平洋地域のポリオ撲滅を宣言しました。が、当初の全世界撲滅目標は、2000年、それが遅れて2005年、さらに遅れて2018年そして2024年から現在も撲滅に至っておりません。

2007年の規定審議会では、ポリオ撲滅がロータリーの最優先プロジェクトとして確定し、2009年ビル＆メリンダ　ゲイツ財団が、GPEIポリオ撲滅推進活動に参加しました。ロータリーに対して、[2億ドルのチャレンジ補助金]として、3億5500万ドルの資金提供をお約束していただきました。

それも　ビルゲイツのお父様がロータリアンだったという事で、ロータリーの活動を身近に感じて下さっているという事は嬉しいことです。

2013年アラブ首長国連邦アブダビにて開催された、世界ワクチンサミットにおいて、2018年迄にポリオを撲滅するための[包括的な6ヶ年計画]が策定されました。

その2018年ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3ヵ国。2020年ナイジェリアはポリオを根絶しました。

2026年現在は、パキスタン、アフガニスタンの2ヵ国です。

ポリオ根絶まであと一歩です。

ご協力のほどお願い申し上げます。

委員会報告

国際奉仕委員会

本年度の国際奉仕事業ですが、『カンボジア・ルッセイロォー村 スマイルウォータープロジェクト』

カンボジアへの渡航は令和9年1月28日～2月1日で考えております。現在17名の参加表明をいただいております。締切は10月31日とさせていただいております。

小島会長の20名以上参加の希望もありますので、是非参加のほどよろしくお願いします

親睦委員会

12月11日（金）のクリスマス家族会の申込書を配布致しました。なるべく喜んでもらえるプレゼントを用意したいのでお子さんお孫さんの年齢と性別を教えて下さい。またアレルギーがある方はお知らせください。

よろしくお願い致します。

プログラム委員会

プログラムの変更がございます。11月6日の卓話を菅野君、11月13日の卓話を吉村君、11月20日をクラブフォーラム卓話、職業奉仕委員会となります。よろしくお願いします。